

大切な水

下原 陽菜

小郡市立 のぞみが丘小学校

私は、一学期に社会科見学で浄化センターに行きました。そこでいろいろなことを学習しました。

浄化センターに行くと、水質けんさや、水をきれいにする仕事をしている人たちがいました。

きれいにする前の水を見ると私たちがのんでいる水とはちがう色をしていました。それを見た私は、一しゅん「この水が本当に、のめるようになるのかな」とびつくりしました。

最初に、大きなゴミを取りのぞいてました。次にみてみると活性おでい生物という小さなび生物が水をきれいにしてくれることがわかりました。広い所で、たくさんさんの作業があり、人だけじゃなく、び生物も働いていました。

とう明になった水は、消どくをしてから川に流します。最初に見た水が川に流しても安全なくらいきれいになったので、おどろきました。

夏休みにイケアに買い物に行つてトイレに入ったら「このトイレの水は、雨水を利用しています。」と書いてありました。それを見て、私は「すごくいいアイデアだな。」と思いました。トイレを流すだけなら、別ののめる水じゃなくていいからです。

家に帰つてからお母さんに、その話をしたら「なかなか家ではむずかしいんじゃない。」と言われました。お花の水やりに雨水をためる

タンクが売つてるそうです。

私は、学校にも雨水を利用できるそうちがつくといいいなと思います。なぜかというと、たくさんの人が水を使うからです。トイレや水まきには雨水を使い分けたら節水できると思います。

私でもできる節水方法を考えました。

①汚れた水を流さないようにするため絵の具や習字道具を使った後は新聞やぞうきんでふいて洗う。

②歯みがきや顔を洗う時に水を出しっぱなしにしない。

③くつを洗うのは、お風呂のこつたおゆを使う。

などです。他にも何かできることはないか考えていきたいです。

浄化センターの見学に行つてから、水について考えるようになりました。朝起きてから夜ねるまで、もしも水が使えなくなつたらどんなに困るのだろうかと思えます。

これからも水の大切さを忘れないように、節水をしたり水を汚さない工夫を考えながら水を使いたいです。

水の大切さを家族や、まわりの人に教えて、水を大切にしていきたいです。そして、水のむだ使いをしないようにしていきたいです。